

平成 30 年度 事務事業評価シート 【 事後評価 】

※色付きのセルのみ入力してください。また、行・列の挿入や削除は絶対に行わないでください。

会計	款	項	目	事業コード	事業名	
一般	02	01	16	124620	賢治のまちづくり推進事業【総括表】	
総合計画	分野	人づくり				
	政策	3-5 芸術文化の振興				
	施策	2 先人の顕彰				
目的	賢治さんの香りあふれるまちづくり					
対象	市民、観光客等					
意図	賢治や賢治の生誕地である花巻の魅力を感じている					
事業概要	…上記目的を実現するための事業手法を記載すること					
賢治のまちづくり推進事業 ○賢治を学ぶ場づくり 16,353千円 (事業) 宮沢賢治賞・イーハトーブ賞、賢治セミナー、賢治の世界セミナー、賢治の世界ワークショップ、宮沢賢治記念館特別展 ○賢治イベントの開催 57,021千円 (事業) 全国高校生童話大賞、宮沢賢治生誕全国俳句大会、宮沢賢治創造演劇公演、賢治フェスティバル(童話村の森ライトアップ、イーハトーブフェスティバル) ○賢治の香りあふれるまちの整備 121千円 (事業) 賢治アートストリート事業 ○賢治情報の発信 2,009千円 (事業) 賢治カレンダー						
市民参画の有無 【 対象外 】						
市民協働の形態		共催 後援・協賛	○ 実行委員会・協議会 補助・助成	事業協力・協定 委託		
活動指標 (上記「事業概要」に対応)		単位	区分	29年度(実績)	30年度(実績)	31年度(計画)
①	セミナー等開催数	回	計画	43	49	
			実績	29	36	
②			計画			
			実績			
③			計画			
			実績			
成果指標 (上記「意図」に対応)		単位	区分	29年度(実績)	30年度(実績)	31年度(計画)
①	日常生活の中で宮沢賢治の作品や考え方に触れることがあると思う市民の割合	%	目標	66.0	67.0	
			実績	63.6	59.7	
②			目標			
			実績			
③			目標			
			実績			
成果指標の達成度	目標値より高い		概ね目標値どおり		○ 目標値より低い	

成果指標の達成度の要因分析 (新規事業及び成果指標を変更した場合は、その成果指標を設定した考え方、目標値の根拠を記載) 事業を継続実施する中で、内容がマンネリ化し参加者も固定的になっている事業や情報発信が不十分な事業があり、数値の低下につながったものと考えられる。		
目的妥当性	公共関与の妥当性 <input type="radio"/> 妥当である <input type="checkbox"/> 見直し余地がある <input type="checkbox"/> 妥当でない	より多くの市民、市外の方に賢治に興味をもってもらうためには、賢治を学ぶ、賢治に触れる機会と場を提供する必要があり、それには市が積極的にイベント等の開催や環境整備、情報発信を行う必要があり妥当である。
有効性	成果の向上余地 <input type="checkbox"/> 向上余地がある <input type="checkbox"/> 向上余地がない	イベントの開催や環境整備、情報発信を行うことで、賢治の作品や考え方に触れる機会が増大し、成果が向上すると考えられる。
効率性	事業費・人件費の削減余地 <input type="checkbox"/> 事業費の削減余地がある <input type="checkbox"/> 人件費の削減余地がある <input type="checkbox"/> どちらも削減余地がない	国、県等の補助を最大限に活用するとともに、イベント等の開催では関連団体等との協同による実行委員会形式をとっており、削減余地はない。
公平性	受益と負担の適正化余地 <input type="checkbox"/> 受益機会の見直し余地がある <input type="checkbox"/> 費用負担の見直し余地がある <input type="checkbox"/> 適正である	市内、市外広く対象を設定しているため、受益機会と費用負担については公平と考える。
総合評価 …上記評価結果の総括 新規参加者の増加に向けた情報発信の在り方や事業内容の見直しが必要であると考えられる。		

平成30年度事業説明資料 【 事後評価 】

※色付きのセルのみ入力してください。また、行・列の挿入や削除は絶対に行わないでください。

会計	款	項	目	事業コード	事業名
一般	02	01	16	124620	賢治のまちづくり推進事業【総括表】

単位：千円

		29年度 決算額(A)	30年度 決算額(B)	31年度 現計予算額	決算額前年比 (B-A)
事業費		82,799	75,504		△ 7,295
財 源 内 訳	国・県		13,204		13,204
	地方債				
	その他	43,606	30,365		△ 13,241
	一般財源	39,193	31,935		△ 7,258

※特定財源の内訳

文化芸術創造拠点形成事業（文化庁） 13,204千円
 宮沢賢治創造演劇公演入場料 365千円
 まちづくり 30,000千円

事業期間	<input type="radio"/> 単年度繰返	期間限定	[平成 年度 ~ 平成 年度]
------	-----------------------------	------	-----------------

部重点施策における目標

芸術文化の振興に努めます

事業開始の背景・経緯

花巻市の強みである宮沢賢治を活かしたまちづくりを推進するため、各課でそれぞれ行っていた宮沢賢治関連事業を平成24年度から「賢治のまちづくり推進事業」として位置づけ、統一した事業目的のもとに実施することとした。

事業概要

賢治のまちづくり推進事業

- 賢治を学ぶ場づくり 16,353千円
 （事業）宮沢賢治賞・イーハトーブ賞、賢治セミナー、賢治の世界セミナー、賢治の世界ワークショップ、宮沢賢治記念館特別展
- 賢治イベントの開催 57,021千円
 （事業）全国高校生童話大賞、宮沢賢治生誕全国俳句大会、宮沢賢治創造演劇公演、賢治フェスティバル（童話村の森ライトアップ、イーハトーブフェスティバル）
- 賢治の香りあふれるまちの整備 121千円
 （事業）賢治アートストリート事業
- 賢治情報の発信 2,009千円
 （事業）賢治カレンダー

意見・要望等の状況（市政懇談会や支所執務、議会答弁対応その他意見・提言等）

担当部署 部名 生涯学習部 課名 賢治まちづくり課 担当係長 佐々木 学 内線 365

（単位：千円）

【事業手法の詳細】…概略図による事業手法の詳細と事業費の内訳を記載すること。
 【適宜、セルは結合して構わないが、結合した1つのセル内は1文章程度にとどめること。】

○賢治を学ぶ場づくり 16,353千円

- ・宮沢賢治賞・イーハトーブ賞：賢治まちづくり課 4,473千円
 報償費2,632、旅費352、需用費403、役務費32、委託料1,054
- ・賢治セミナーの開催：生涯学習課 48千円
 報償費38、需用費3、役務費7
- ・賢治の世界セミナー：賢治記念館 906千円
 報償費450、費用弁償255、需用費200、役務費1
- ・賢治の世界ワークショップ：賢治記念館 112千円
 報償費100、費用弁償4、需用費8
- ・特別展：賢治記念館 10,814千円
 報償費100、旅費132、需用費2,086、役務費233、委託料2,460、
 備品購入費5,803

○賢治イベントの開催 57,021千円

- ・宮沢賢治生誕祭全国俳句大会（賢治まちづくり課）350千円 ※補助金
 8/27 グランシエール花巻
- ・全国高校生童話大賞（賢治まちづくり課）1,700千円 ※負担金
 作品募集期間6/1～9/10、審査発表11/16、表彰式12/15
- ・宮沢賢治創造演劇公演（賢治まちづくり課）2,283千円
 12/23 花巻市文化会館
 賃金5、報償費5、需用費524、役務費143、委託料1,606
- ・賢治フェスティバル（賢治まちづくり課）52,620千円 ※負担金
 童話村の森ライトアップ（7/27～10/7）、フェスティバル（8/25～26）
- ・「土に叫ぶ人 松田甚次郎 ～宮沢賢治を生きる～」花巻公演
 （賢治まちづくり課） 68千円
 1/27 花巻市文化会館
 賃金11、報償費57

○賢治の香りあふれるまちの整備 121千円

- ・賢治アートストリート：賢治まちづくり課 121千円
 「あなたが思う宮沢賢治」と題した作品（絵画等）を児童、生徒、一般から募集し、新花巻駅から宮沢賢治記念館までの沿道及び童話村賢治の学校へ展示
 報償費10、需用費111

○賢治情報の発信 2,009千円

- ・賢治カレンダー：賢治まちづくり課 2,009千円
 賢治ゆかりの地（案内板紹介含む）やイベント日程等、賢治の情報を集約したカレンダーの作成（年2回）
 印刷製本費2,009

平成 30 年度事業説明資料 【 事後評価 】

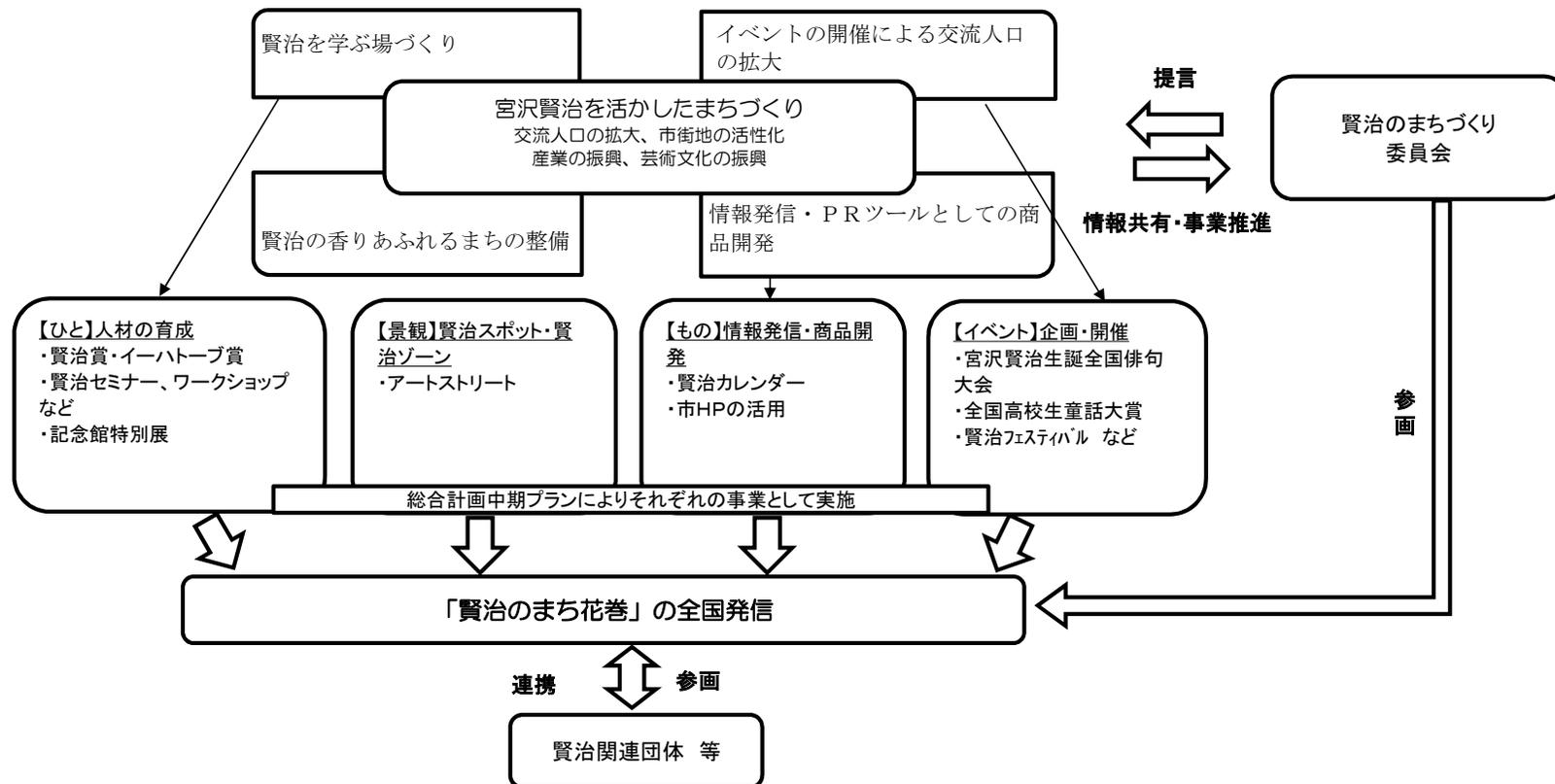
※色付きのセルのみ入力してください。また、行・列の挿入や削除は行わないでください。

会計	款	項	目	事業コード	事業名
一般	02	01	16	124620	賢治のまちづくり推進事業【総括表】

(単位：千円)

《事業手法の詳細》…概略図による事業手法の詳細と事業費の内訳を記載すること 【適宜、セルは結合して構わないが、結合した1つのセル内は1文章程度にとどめること。】

◎平成30年度の流れ



平成 30 年度 事務事業評価シート 【 事後評価 】

※色付きのセルのみ入力してください。また、行・列の挿入や削除は絶対に行わないでください。

会計	款	項	目	事業コード	事業名	
一般	10	05	01	104380	先人顕彰推進事業	
総合計画	分野	人づくり				
	政策	3-5	芸術文化の振興			
	施策	2	先人の顕彰			
目的	花巻ゆかりの先人紹介					
対象	市民、観光客					
意図	市民が地域の歴史や文化に触れることにより、郷土に誇りと愛着を持つようになる。観光客は、花巻の先人を理解することにより再訪への足がかりとなる。					
事業概要	…上記目的を実現するための事業手法を記載すること					
○共同企画展 平成30年12月8日から平成31年1月27日に開催 企画展開催館5館 2,842千円						
○先人顕彰ギャラリー展 図書館等で開催 20千円						
市民参画の有無 []						
市民協働の形態		共催 後援・協賛	実行委員会・協議会 補助・助成	事業協力・協定 委託		
活動指標（上記「事業概要」に対応）		単位	区分	29年度(実績)	30年度(実績)	31年度(計画)
①	共同企画展の開催館数	館	計画	5	5	
			実績	5	5	
②			計画			
			実績			
③			計画			
			実績			
成果指標（上記「意図」に対応）		単位	区分	29年度(実績)	30年度(実績)	31年度(計画)
①	郷土の歴史や文化に誇りや愛着を持っている	%	目標	67.2	67.2	
			実績	67.3	68.8	
②	共同企画展入場者数	人	目標	5,000	5,000	
			実績	3,456	4,029	
③			目標			
			実績			
成果指標の達成度	目標値より高い		<input type="radio"/>	概ね目標値どおり		目標値より低い

成果指標の達成度の要因分析 (新規事業及び成果指標を変更した場合は、その成果指標を設定した考え方、目標値の根拠を記載)		
郷土の先人の功績について理解するため、市民が先人顕彰施設を訪れる状況を示すものとして設定した。 共同企画展の開催館数は昨年度と同じであったが入場者数は増加し、アンケート結果による来館者の満足度も高かった。		
目的妥当性	公共関与の妥当性 <input type="radio"/> 妥当である 見直し余地がある 妥当でない	市内各施設の企画展の開催時期を合わせることで、来館者へのサービスを図るもので公共関与は妥当である。 先人の偉業を通じ市民へ郷土への誇りを醸成することは市として妥当である。
有効性	成果の向上余地 <input type="radio"/> 向上余地がある 向上余地がない	知られていない先人は多く、市民へ広く紹介する機会を設ける。 企画展の内容について連携することにより、市民をはじめ、より多くの来館者が訪問しやすくなる。
効率性	事業費・人件費の削減余地 事業費の削減余地がある 人件費の削減余地がある <input type="radio"/> どちらも削減余地がない	職員の直営で行えるものは対応するなど、最低限のコストを考慮している。簡易な事務については、非常勤職員で対応しているが専門知識を要する業務が多いのでこれ以上の削減はできない。
公平性	受益と負担の適正化余地 受益機会の見直し余地がある 費用負担の見直し余地がある <input type="radio"/> 適正である	入館料を徴収し、受益者負担としており公平である。
総合評価 …上記評価結果の総括		
まだ知られていない先人が多くおり、この先人たちの偉業を調査し広く市民へ紹介する機会を提供した。 市民が地域の歴史や文化に触れることにより、改めて郷土に目を向け故郷の良さを再発見し愛着を持つようになった。		

平成 30 年度 事業説明資料 【 事後評価 】

※色付きのセルのみ入力してください。また、行・列の挿入や削除は絶対に行わないでください。

会計	款	項	目	事業コード	事業名
一般	10	05	01	104380	先人顕彰推進事業

単位：千円

		29年度 決算額(A)	30年度 決算額(B)	31年度 現計予算額	決算額前年比 (B-A)
事業費		3,072	2,862		△ 210
財源内訳	国・県				
	地方債		1,000		1,000
	その他				
	一般財源	3,072	1,862		△ 1,210

※特定財源の内訳

事業期間	単年度繰返	期間限定	[平成 年度 ~ 平成 年度]
------	-------	------	-----------------

部重点施策における目標
芸術文化の振興を図ります。

事業開始の背景・経緯

市内文化施設の利用促進を図るため平成22年度から、各施設特別展の開催期間を合わせた共同企画展を開催している。

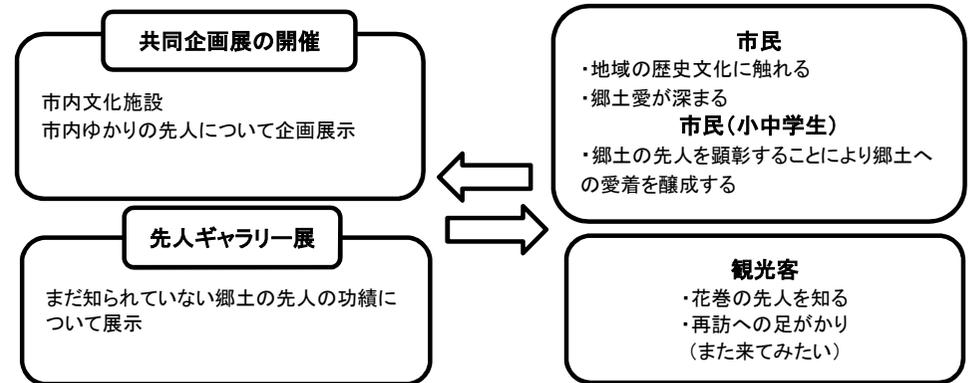
事業概要

- 共同企画展 平成30年12月8日から平成31年1月27日に開催 企画展開催館5館 2,842千円
- 先人顕彰ギャラリー展 図書館等で開催 20千円

意見・要望等の状況（市政懇談会や支所執務、議会答弁対応その他意見・提言等）

担当部署 部名 生涯学習部 課名 生涯学習課 担当係長 伊藤夕子 内線 418
(単位：千円)

《事業手法の詳細》…概略図による事業手法の詳細と事業費の内訳を記載すること。
【適宜、セルは結合して構わないが、結合した1つのセル内は1文章程度にとどめること。】



①共同企画展 2,842千円（前年比△174）

【内容】 市内先人顕彰施設による、花巻ゆかりの先人について同時期に企画展を行った。

期 間：平成30年12月8日から平成31年1月27日

テーマ：花巻ゆかりの先人

施設	顕彰する先人	事業費	前年比
萬鉄五郎記念美術館	池田次男	1,001	+5
花巻新渡戸記念館	新渡戸春治	191	+5
博物館	斎藤宗次郎	452	+9
総合文化財センター	亀花甲寿郎、藤原権治	354	△45
高村光太郎記念館	高村光太郎	237	△163
共通経費	スタンプラリー、チラシ等	607	+15

②先人顕彰ギャラリー展 20千円

花巻の先人であり功績を残しながらも埋もれている先人を、広く市民に紹介した。

まなび学園、各図書館を巡回して展示した。

○花巻の文人 [西公園石碑群ゆかりの先人たち] パネル展

○イーハトーブの先人たち [新渡戸春治、池田次男、あやつり人形・亀花一座、斎藤宗次郎、高村光太郎] パネル展

(期間) 平成31年1月19日から2月20日まで

平成 30 年度事業説明資料 【 事後評価 】

※色付きのセルのみ入力してください。また、行・列の挿入や削除は行わないでください。

会計	款	項	目	事業コード	事業名
一般	10	05	01	104380	先人顕彰推進事業

(単位：千円)

《事業手法の詳細》…概略図による事業手法の詳細と事業費の内訳を記載すること 【適宜、セルは結合して構わないが、結合した1つのセル内は1文章程度にとどめること。】

H30共同企画展開催事業

(単位：円)

節	施設	萬鉄五郎 記念美術館	花巻新渡戸 記念館	博物館	総合文化財セン ター	高村光太郎記 念館	生涯学習課	合計
8	報償費				24,000		13,100	37,100
9	旅費							
11	需用費(消耗品費)	146,876	22,820	126,360	301,694		3,747	601,497
11	需用費(印刷製本費)			178,200			590,328	768,528
11	需用費(食糧費)	9,600						9,600
12	役務費(通信運搬費)	42,380			28,000			70,380
12	役務費(保険料)	20,160						20,160
13	委託料	751,680	168,480	147,096		237,600		1,304,856
14	使用料及び賃借料	30,000						30,000
	計	1,000,696	191,300	451,656	353,694	237,600	607,175	2,842,121
	顕彰する先人	池田 次男	新渡戸 春治	斎藤 宗次郎	亀花甲寿郎ほか	高村光太郎		
	開催期間	平成30年12月8日～平成31年1月27日まで			先人ギャラリー 20,140円(11消耗品)を足すと			2,862,261

平成 30 年度 事業説明資料 【 事後評価 】

※色付きのセルのみ入力してください。また、行・列の挿入や削除は絶対に行わないでください。

会計	款	項	目	事業J-ト	事業名
一般	10	05	06	104500	宮沢賢治普及・啓発事業

単位：千円

		29年度 決算額(A)	30年度 決算額(B)	31年度 現計予算額	決算額前年比 (B-A)
事業費		11,338	10,741		△ 597
財 源 内 訳	国・県				
	地方債				
	その他				
	一般財源	11,338	10,741		△ 597

※特定財源の内訳

--

事業期間	<input type="radio"/> 単年度繰返	期間限定	[平成 年度 ~ 平成 年度]
------	-----------------------------	------	-----------------

部重点施策における目標

芸術文化の振興

事業開始の背景・経緯

宮沢賢治学会は、「賢治宇宙・賢治精神の探求の最先端となる場」「単に研究者ばかりでなく、賢治の人と作品に関心のあるすべての人が自由に平等に交流でき、利用できる開かれた広場」にしたいという願いを込めて、平成2年に「ふるさと創生事業」として設立した。

事業概要

宮沢賢治学会イーハトーブセンター運営補助
 ・宮沢賢治に関する資料・情報の収集及び提供
 ・定期大会、研究発表会・シンポジウム等の開催
 ・研修会・講座等の開催
 ・会員間の情報交流、研究活動への協力
 ・宮沢賢治賞・イーハトーブ賞の選考、学会功労賞の選考・決定
 企画展の開催（宮沢賢治学会イーハトーブセンター委託）
 ・応募企画展 宮沢賢治との出会い 伊藤卓美木版画展 4月2日～6月30日
 宮沢賢治 ひのきとひなげし 中野真紀子作陶展 7月7日～10月7日
 ・宮沢賢治記念館特別展連携企画展第4弾 「イーハトーブの冬」～五感で味わう世界～
 10月10日～平成31年3月31日

意見・要望等の状況（市政懇談会や支所執務、議会答弁対応その他意見・提言等）

芸術文化施設は、資料の展示・保存・収集や調査・研究の機能を有する社会教育施設であり、展示内容の客観性を維持する観点からも市の直営が望ましいと議会答弁している。

担当部署 部名 生涯学習部 課名 宮沢賢治イーハトーブ館 担当係長 藤井 廣志 内線 31-2116

(単位：千円)

《事業手法の詳細》…概略図による事業手法の詳細と事業費の内訳を記載すること。
 【適宜、セルは結合して構わないが、結合した1つのセル内は1文章程度にとどめること。】

学会運営経費（H30学会決算額）	
総会費 総会の開催等	1, 394千円
理事会費 会議開催費	2, 360千円
委員会費 会議開催費	554千円
事務費	929千円
事務局人件費	3, 652千円
研究費 研究活動費等	822千円
普及費 企画展、セミナー開催費等	2, 238千円
機関誌発行費 機関誌・会報印刷、通信費等	4, 131千円
ホームページ運営費	65千円
資料費 図書資料購入費	61千円
賞選考費	524千円
合計	16, 730千円

①宮沢賢治学会イーハトーブセンター事業補助金 9, 641千円
 補助金算定内訳（学会予算額により算定）
 学会運営経費（企画展開催委託費、人件費を除く。）× 1/2 + H30人件費
 (16,730-1,100-3,652) × 1/2 + 3,652千円

②企画展開催委託料 1, 100千円
 応募企画展として「宮沢賢治との出会い 伊藤卓美木版画展」と「宮沢賢治ひのきとひなげし 中野真紀子作陶展」を、宮沢賢治記念館特別展連携企画展第4弾として「イーハトーブの冬」～五感で味わう世界～を宮沢賢治学会イーハトーブセンターに委託し、宮沢賢治イーハトーブ館で開催した。

平成 30 年度 事務事業評価シート 【 事後評価 】

※色付きのセルのみ入力してください。また、行・列の挿入や削除は絶対に行わないでください。

会計	款	項	目	事業コード	事業名	
一般	10	05	06	104510	宮沢賢治イーハトーブ館整備事業	
総合計画	分野	人づくり				
	政策	3-5	芸術文化の振興			
	施策	2	先人の顕彰			
目的	賢治の香りあふれるまちづくり					
対象	市民、観光客					
意図	賢治及び賢治の生誕地花巻の魅力を感じてもらおう					
事業概要 …上記目的を実現するための事業手法を記載すること						
宮沢賢治イーハトーブ館整備事業 ＜事業内容＞ 施設の補修 ・外壁改修設計、工事						
市民参画の有無 [対象外]						
市民協働の形態		共催 後援・協賛	実行委員会・協議会 補助・助成	事業協力・協定 委託		
活動指標（上記「事業概要」に対応）		単位	区分	29年度(実績)	30年度(実績)	31年度(計画)
①	宮沢賢治イーハトーブ館整備事業	件	計画	3	1	
			実績	3	1	
②			計画			
			実績			
③			計画			
			実績			
成果指標（上記「意図」に対応）		単位	区分	29年度(実績)	30年度(実績)	31年度(計画)
①	宮沢賢治イーハトーブ館入館者数	人	目標	30,000	30,000	
			実績	24,959	26,085	
②			目標			
			実績			
③			目標			
			実績			
成果指標の達成度	目標値より高い		概ね目標値どおり		○ 目標値より低い	

成果指標の達成度の要因分析 (新規事業及び成果指標を変更した場合は、その成果指標を設定した考え方、目標値の根拠を記載)	
施設や設備の老朽化に伴う利用者の満足度の低下が利用者数減少の一因となったものと考えられる。	
目的妥当性	公共関与の妥当性 ○ 妥当である 見直し余地がある 妥当でない
有効性	成果の向上余地 ○ 向上余地がある 向上余地がない
効率性	事業費・人件費の削減余地 事業費の削減余地がある 人件費の削減余地がある ○ どちらも削減余地がない
公平性	受益と負担の適正化余地 受益機会の見直し余地がある 費用負担の見直し余地がある ○ 適正である
総合評価 …上記評価結果の総括	
宮沢賢治記念館をはじめとする賢治関連施設及びその周辺の地域一帯は「賢治胡四王の森」と位置づけられており、この地域内にある賢治関連施設についてはコンセプトを明確にし、連携を図りながら、広く市民や観光客等に利用されている。宮沢賢治イーハトーブ館は「賢治さんを学ぶ」をコンセプトにした施設であるが、平成4年の竣工以来20数年が経過し、老朽化が進み、利用者の満足度低下だけでなく宮沢賢治学会イーハトーブセンターの運営にも支障をきたしている。今後も利用者の満足度を向上させるために、設備機能の保全、向上及び施設の長寿命化を図るものとして整備は必要である。	

平成 30 年度 事業説明資料 【 事後評価 】

※色付きのセルのみ入力してください。また、行・列の挿入や削除は絶対に行わないでください。

会計	款	項	目	事業J-ド	事業名
一般	10	05	06	104510	宮沢賢治イーハトーブ館整備事業

単位：千円

		29年度 決算額(A)	30年度 決算額(B)	31年度 現計予算額	決算額前年比 (B-A)
事業費		20,391	26,071		5,680
財源内訳	国・県				
	地方債				
	その他	10,000	21,608		11,608
	一般財源	10,391	4,463		△ 5,928

※特定財源の内訳

まちづくり 21,608千円

事業期間	単年度繰返	<input type="radio"/> 期間限定	[平成 27 年度 ~ 平成 30 年度]
------	-------	----------------------------	-----------------------

部重点施策における目標

芸術文化の振興を図ります

事業開始の背景・経緯

竣工から20年以上が経過し施設や設備の老朽化が著しいため、利用者の満足度の低下だけでなく宮沢賢治学会イーハトーブセンターの運営にも支障を及ぼしかねない状況となっている。利用者の満足度向上につなげるために施設機能の保全、長寿命化を図る必要がある。

事業概要

宮沢賢治イーハトーブ館整備事業

< 事業内容 >

施設の補修

- ・外壁改修設計、工事

意見・要望等の状況（市政懇談会や支所執務、議会答弁対応その他意見・提言等）

担当部署 部名 生涯学習部 課名 賢治まちづくり課 担当係長 佐々木 学 内線 365
(単位：千円)

《事業手法の詳細》…概略図による事業手法の詳細と事業費の内訳を記載すること。
【適宜、セルは結合して構わないが、結合した1つのセル内は1文章程度にとどめること。】

宮沢賢治イーハトーブ館（老朽化）
（“賢治さんを学ぶ”というコンセプト）

賢治胡四王の森整備事業
賢治記念館など賢治関連施設及びその周辺を「賢治胡四王の森」と位置付け、各館のコンセプトを明確にしなが事業を実施する。

宮沢賢治イーハトーブ館整備

来館者の満足度向上

入館者の増

《これまでの整備内容》

H27	修繕	冷水ポンプ交換 空気調和器修理 南斜花壇浄化槽放流ポンプ取替 屋外排水管布設替	
	委託料	空冷チラーユニット入替工事設計	
	工事費	空冷チラーユニット入替工事	
	備品購入費	プロジェクター更新	
H28	修繕	テラスAタイル張替 エレベーター改修修繕	
	修繕	展示場暖房配管修繕→天井扇取付 ホール客電調光盤取り替え	
H29	委託料	屋上防水改修工事設計委託	
	工事費	屋上防水改修工事	
	委託料	外壁改修設計委託	1,577千円
H30	工事費	外壁改修工事	24,494千円
			26,071千円

平成 30 年度 事務事業評価シート 【 事後評価 】

※色付きのセルのみ入力してください。また、行・列の挿入や削除は絶対に行わないでください。

会計	款	項	目	事業コード	事業名
一般	10	05	07	104530	新渡戸記念館企画展示事業
総合計画	分野	人づくり			
	政策	3-5	芸術文化の振興		
	施策	2	先人の顕彰		
目的	新渡戸家及び新渡戸家ゆかりの先人とその業績を紹介する。				
対象	一般市民及び県内外の観光客				
意図	江戸時代以降の花巻発展に貢献した新渡戸家や新渡戸稲造を顕彰・紹介し、花巻の歴史の一端を市民に触れてもらうとともに、観光客にも本市をPRする機会とする。				
事業概要	…上記目的を実現するための事業手法を記載すること				
○特別展の開催	・常設展とは別に、年間を通して特別展を3回開催した。				
○教育普及事業	①市内の学校以外にも近隣の市外の学校にもPRし来館を促すとともに、出前講座を開催した。				
	②市内外の公民館に働きかけ、高齢者学級や婦人学級に活用していただくようにした。				
	③一般の市民を対象にした「新渡戸教室」を開催した。				
	④参加者を公募し、新渡戸家ゆかりの地を訪ねる移動研修を開催した。				
○展示室の充実《新規》	常設展示室映像シアター用映像を制作した。				
市民参画の有無	〔 無 〕				
市民協働の形態	共催	実行委員会・協議会		事業協力・協定	
	後援・協賛	補助・助成		委託	
活動指標（上記「事業概要」に対応）	単位	区分	29年度(実績)	30年度(実績)	31年度(計画)
① 行事開催数	回	計画	10	10	
		実績	10	10	
②		計画			
		実績			
③		計画			
		実績			
成果指標（上記「意図」に対応）	単位	区分	29年度(実績)	30年度(実績)	31年度(計画)
① 入館者数	人	目標	25,000	25,000	
		実績	13,118	12,815	
② 生涯学習に利用した小中学校数／市内小中学校数	%	目標	25.0	27.0	
		実績	26.7	20.0	
③		目標			
		実績			
成果指標の達成度	目標値より高い		概ね目標値どおり		○ 目標値より低い

成果指標の達成度の要因分析 (新規事業及び成果指標を変更した場合は、その成果指標を設定した考え方、目標値の根拠を記載)	
○入館者数の推移 H26年度 13,113人(36人/日) H27年度 14,302人(40人/日) H28年度 14,707人(41人/日) H29年度 13,118人(36人/日) H30年度 12,815人(36人/日)	
○生涯学習に利用した小中学校数は例年7校前後。H30年度においては6校が利用した。	
目的妥当性	公共関与の妥当性 ○ 妥当である 見直し余地がある 妥当でない 学校の教科書では中々習うことの少ない新渡戸氏やそのゆかりの先人を知ることは、郷土の歴史に触れ地元愛を醸成するとともに、県内外の観光客に対しても花巻市をアピールする効果もあり、市の業務とするのは至当である。
有効性	成果の向上余地 ○ 向上余地がある 向上余地がない 特に県外から来館者からは、高い評価をいただいているが、一方、開館してから26年経過するものの、市民の間においてはまだまだ十分に浸透していない状況が見受けられるので、周知の工夫やイベントを充実させればまだ向上する余地はあると思われる。
効率性	事業費・人件費の削減余地 事業費の削減余地がある 人件費の削減余地がある ○ どちらも削減余地がない 休館日は年末年始のみという中、正職員2名(事務職と学芸員の各1名)、非常勤職員1名(館長)の体制で運営しており、これ以上の削減は困難である。
公平性	受益と負担の適正化余地 受益機会の見直し余地がある 費用負担の見直し余地がある ○ 適正である 市内外を問わず入館者に対して、原則同一料金をいただいております。
総合評価 …上記評価結果の総括	
<ul style="list-style-type: none"> ・教科書で知ることがきわめて少ない郷土史について、新渡戸家という切り口を通して江戸時代以降の花巻の先人や歴史を学ぶことができるということはすこぶる有益であると思われる。 ・また新渡戸稲造という傑出した人物を生んだ土壌が花巻にあることを県内外にアピールすることは、本市の大きなPRポイントにもなる。 ・一方、当館で実施しているアンケート調査では、展示内容及び施設環境にはかなり肯定的な意見が多いにも関わらず、知名度の点において劣っているのは否めない。このため今後、市内外に対して様々な媒体や機会を捉えてPRしていく必要がある。 ・常設展示室映像シアター用の映像は25年以上経過しており、途中で音声と映像が途切れる状態が続いていた。来館者からは鮮明な映像と音声への要望が寄せられていることから、よりきれいで鮮やかな映像・音声を新たに制作し、来館者に提供することが必要となっていたため、映像を新しく制作した。その結果、満足感を得た来館者から知人・地域住民へ新渡戸記念館の情報が広がり、当館への来館者やリピーターの増加が期待できる。 	

平成30年度事業説明資料 【 事後評価 】

※色付きのセルのみ入力してください。また、行・列の挿入や削除は絶対に行わないでください。

会計	款	項	目	事業J-ド	事業名
一般	10	05	07	104530	新渡戸記念館企画展示事業費

単位：千円

		29年度 決算額(A)	30年度 決算額(B)	31年度 現計予算額	決算額前年比 (B-A)
事業費		1,224	4,054		2,830
財源内訳	国・県				
	地方債				
	その他		2,000		2,000
	一般財源	1,224	2,054		830

※特定財源の内訳

寄附金（まちづくり）2,000千円

事業期間	単年度繰返	期間限定	[平成 年度 ~ 平成 年度]
------	-------	------	-----------------

部重点施策における目標

芸術文化の振興を図る。

事業開始の背景・経緯

江戸時代以降、花巻の地域開発に大きな足跡を残し、国際人・新渡戸稲造を生んだ新渡戸一族と同家とゆかりのある先人たちを顕彰・紹介するため、平成3年10月、新渡戸家ゆかりの地に開館した。

事業概要

- 特別展の開催
 - ・常設展とは別に、年間を通して特別展を3回開催した。
- 教育普及事業
 - ①市内の学校以外にも近隣の市外の学校にもPRし来館を促すとともに、出前講座を開催した。
 - ②市内外の公民館に働きかけ、高齢者学級や婦人学級に活用していただくようにした。
 - ③一般の市民を対象にした「新渡戸教室」を開催した。
 - ④参加者を公募し、新渡戸家ゆかりの地を訪ねる移動研修を開催した。
- 展示室の充実《新規》
 - 常設展示室映像シアター用映像を制作した。

意見・要望等の状況（市政懇談会や支所執務、議会答弁対応その他意見・提言等）

入館者から、映像シアターの映像及びナレーションの音飛びの解消、映像や音響機器の改善、という要望が寄せられている。

担当部署 部名 生涯学習部 課名 新渡戸記念館 担当 前田佐和子 内線 31-2120

(単位：千円)

《事業手法の詳細》…概略図による事業手法の詳細と事業費の内訳を記載すること。
【適宜、セルは結合して構わないが、結合した1つのセル内は1文章程度にとどめること。】

●年間事業計画

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3
企画展示	特別展Ⅰ			特別展Ⅱ			共同企画展			特別展Ⅲ		
教育普及・イベント	会員(サポーター)募集											
	特別公演	移動研修	新渡戸教室	開館記念行事								

◆事業の概要

- 平成29年度事業（1,224千円） ⇒ ○平成30年度事業（4,054千円）
- ①特別展を年3回開催 ○特別展を年3回開催
- ②イベント関係 ○特別展を年3回開催
 - ・春の特別公演、秋の開館記念行事
 - ・春の特別公演、秋の開館記念行事
- ③教育普及事業 ○教育普及事業
 - ・一般を対象の新渡戸教室
 - ・一般を対象の新渡戸教室
 - ・出前講座、移動研修を開催
 - ・出前講座、移動研修を開催
- ④展示室の充実（単年度新規 2,970千円）

◆平成30年度の主な事業

1. 特別展Ⅰ 「新渡戸稲造名著シリーズⅠ」 5/20～8/31
 - 新渡戸稲造著「帰雁の蘆」を紹介する。
 - 特別展Ⅱ 「新渡戸家の武芸」 9/7～11/23
 - 新渡戸家伝来の武芸を紹介する。
 - 特別展Ⅲ 「収蔵展（ひな人形展）」 H31.2/11～4/7
 - 新渡戸家や市内旧家に伝わるひな人形や花巻人形等を紹介する。
 2. 「新渡戸教室」の開催（教育普及事業）
 - 目的
 - ・稲造を始めとする新渡戸家の業績を広く市民に知らしめるとともに、改めて館の存在を周知させるため、教室を開催する。
 - 内容
 - ①花巻と新渡戸氏 ②新渡戸稲造の生涯
 3. 展示室の充実（単年度新規 2,970千円）
 - ・映像シアター用の映像制作 2,970千円
- 事業費内訳
- 8節 100千円（イベント出演、講師謝礼）
 - 11節 529千円（チラシ・リーフレット印刷）
 - 12節 85千円（広告費、資料送付代）
 - 13節 3,340千円（展示ガ 祉製作、映像シアター用映像制作）

《3. 展示室の充実 詳細》
映像制作：
穴堰掘削作業など花巻地方の新田開発の様子を紹介。

平成 30 年度 事務事業評価シート 【 事後評価 】

※色付きのセルのみ入力してください。また、行・列の挿入や削除は絶対に行わないでください。

会計	款	項	目	事業コード	事業名	
一般	10	05	11	104640	高村光太郎記念館企画展示事業	
総合計画	分野	人づくり				
	政策	3-5	芸術文化の振興			
	施策	2	先人の顕彰			
目的	高村光太郎の紹介					
対象	市民、観光客					
意図	市民が地域の歴史や文化に触れることにより、郷土に誇りと愛着を持つようになる。 観光客は、花巻の先人を理解することにより再訪への足がかりとなる。					
事業概要	…上記目的を実現するための事業手法を記載すること					
○高村光太郎に関する企画展示 1回 1,479千円 ・高村光太郎記念館企画展「光太郎と花巻電鉄」 ○高村光太郎に関する講座 2回 89千円 ・高村光太郎記念館講座「光太郎の食卓と星降る里山を楽しむ」 ・高村光太郎記念館講座「光太郎の食卓と実りの秋を楽しむ」						
市民参画の有無 [対象外]						
市民協働の形態		共催	実行委員会・協議会	事業協力・協定		
		後援・協賛	補助・助成	<input type="radio"/> 委託		
活動指標（上記「事業概要」に対応）		単位	区分	29年度(実績)	30年度(実績)	31年度(計画)
① 企画展示の回数	回		計画	2	1	
			実績	2	1	
②			計画			
			実績			
③			計画			
			実績			
成果指標（上記「意図」に対応）		単位	区分	29年度(実績)	30年度(実績)	31年度(計画)
① 入館者数	人		目標	15,000	15,000	
			実績	13,530	14,233	
②			目標			
			実績			
③			目標			
			実績			
成果指標の達成度	目標値より高い		<input type="radio"/>	概ね目標値どおり		目標値より低い

成果指標の達成度の要因分析 (新規事業及び成果指標を変更した場合は、その成果指標を設定した考え方、目標値の根拠を記載)		
入館者数は年間を通して昨年度より増加しており、特に企画展開催時に大幅に増加している。また、光太郎の食をテーマにした講座は、アンケート結果によると受講生の満足度は高かった。		
目的妥当性	公共関与の妥当性	先人の偉業を通じ市民へ郷土への誇りを醸成することは市として妥当である。
	<input type="radio"/> 妥当である	
	見直し余地がある <input type="radio"/> 妥当でない	
有効性	成果の向上余地	展示内容の充実を図りことにより、入館者が増加すると判断した。
	<input type="radio"/> 向上余地がある	
	向上余地がない	
効率性	事業費・人件費の削減余地	職員の直営で行えるものは対応するなど、最低限のコストを考慮している。簡易な事務については、非常勤職員で対応しているが専門知識を要する業務が多いのでこれ以上の削減はできない。
	事業費の削減余地がある	
	人件費の削減余地がある <input type="radio"/> どちらも削減余地がない	
公平性	受益と負担の適正化余地	入館料を徴収し、受益者負担としており公平である。
	受益機会の見直し余地がある	
	費用負担の見直し余地がある <input type="radio"/> 適正である	
総合評価 …上記評価結果の総括		
高村光太郎の偉業を調査し広く市民へ紹介する機会を提供した。 芸術家 高村光太郎も愛した郷土に目を向け、故郷の良さを再発見し愛着を持つように努めた。		

平成 30 年度 事業説明資料 【 事後評価 】

※色付きのセルのみ入力してください。また、行・列の挿入や削除は絶対に行わないでください。

会計	款	項	目	事業J-ト	事業名
一般	10	05	11	104640	高村光太郎記念館企画展示事業

単位：千円

		29年度 決算額(A)	30年度 決算額(B)	31年度 現計予算額	決算額前年比 (B-A)
事業費		1,249	1,568		319
財源内訳	国・県				
	地方債				
	その他				
	一般財源	1,249	1,568		319

※特定財源の内訳

事業期間	<input type="radio"/> 単年度繰返	期間限定	[平成 年度 ~ 平成 年度]
------	-----------------------------	------	-----------------

部重点施策における目標

芸術文化の振興を図ります。

事業開始の背景・経緯

彫刻家であり詩人でもある高村光太郎は、あらゆる芸術家たちとの交流をもちながら、自らの才能を開花させていった著名な文化人である。その業績を知りたいという要望は県内外から多く寄せられている。企画展示により、より光太郎の偉業を多面的に深く知ることができる。

事業概要

- 高村光太郎に関する企画展示 1回 1,479千円
 - ・高村光太郎記念館企画展「光太郎と花巻電鉄」
- 高村光太郎に関する講座 2回 89千円
 - ・高村光太郎記念館講座「光太郎の食卓と星降る里山を楽しむ」
 - ・高村光太郎記念館講座「光太郎の食卓と実りの秋を楽しむ」

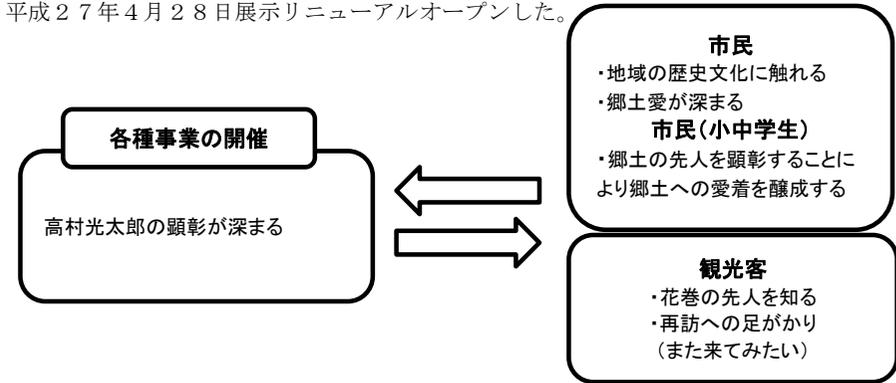
意見・要望等の状況（市政懇談会や支所執務、議会答弁対応その他意見・提言等）

担当部署 部名 生涯学習部 課名 生涯学習課 担当係長 伊藤夕子 内線 418

(単位：千円)

《事業手法の詳細》…概略図による事業手法の詳細と事業費の内訳を記載すること。
【適宜、セルは結合して構わないが、結合した1つのセル内は1文章程度にとどめること。】

旧歴史民俗資料館（S57建築）を高村光太郎記念館とし、公設民営として高村光太郎生誕130周年の年である平成25年度に開館、平成27年4月28日展示リニューアルオープンした。



①高村光太郎記念館企画展 「光太郎と花巻電鉄」 1,479千円 (前年度比 +248千円)

東北初の路面電車で花巻の二大温泉街と花巻市街を結ぶ路線として開業した花巻電鉄。住民の足としても親しまれた花巻電鉄は太田村へ移住した高村光太郎が市街地への買い出しに利用し、その様子は記録映画にも残された。

本企画展では、光太郎が暮らした当時の花巻の様子を花巻電鉄のミニチュアが走るジオラマで情緒豊かに再現し、光太郎が七年間を過ごした往時の花巻の様子をたどる。

- 開催時期 平成30年7月14日～11月19日
- 委託先：一般財団法人 花巻高村光太郎記念会
- 高村光太郎記念館企画展示業務委託 1,370千円×1.08=1,479千円

・ジオラマ展示制作費	800	・広告等印刷費	120
・資料輸送費	200	・消耗品費	10
・展示設営および展示作業補助員手配費	128	・通信運搬費	30
・展示パネル等製作費	82		

②高村光太郎記念館講座 89千円 (前年度比 +71千円)

高村光太郎の太田村山口でくらしした山荘周辺の自然豊かな里山と展示作品を鑑賞する。光太郎の日記をもとに自炊生活の食卓を再現して光太郎の世界を感じる。

- 開催時期 (前期) 平成30年6月9日 (後期) 平成30年9月1日
- 高村光太郎記念館講座 89千円

・講師報償費	22	・消耗品費	19
・講師旅費	48	・通信運搬費	0

平成 30 年度 事務事業評価シート 【 事後評価 】

※色付きのセルのみ入力してください。また、行・列の挿入や削除は絶対に行わないでください。

会計	款	項	目	事業コード	事業名
一般	10	05	07	104540	新渡戸記念館整備事業
総合計画	分野	人づくり			
	政策	3-5 芸術文化の振興			
	施策	2 先人の顕彰			
目的	老朽化した花巻新渡戸記念館の改修を行い、入館者の便宜を図る				
対象	市民及び観光客				
意図	訪れてもらい、花巻発展に貢献した新渡戸家及び花巻の魅力を感じてもらう。				
事業概要	…上記目的を実現するための事業手法を記載すること				
	・屋根及び排煙窓の改修				
市民参画の有無	【 対象外 】				
市民協働の形態	共催		実行委員会・協議会	事業協力・協定	
	後援・協賛		補助・助成	委託	
活動指標（上記「事業概要」に対応）	単位	区分	29年度(実績)	30年度(実績)	31年度(計画)
① 整備事業実施件数	件	計画		1	
		実績		1	
②		計画			
		実績			
③		計画			
		実績			
成果指標（上記「意図」に対応）	単位	区分	29年度(実績)	30年度(実績)	31年度(計画)
①		目標			
		実績			
②		目標			
		実績			
③		目標			
		実績			
成果指標の達成度	目標値より高い		概ね目標値どおり		目標値より低い

成果指標の達成度の要因分析 (新規事業及び成果指標を変更した場合は、その成果指標を設定した考え方、目標値の根拠を記載) 当館を整備することでこの事業の意図は達成できるため、成果指標は設定しない。		
目的妥当性	公共関与の妥当性	花巻新渡戸記念館は市の施設であり、市で整備を行うことが妥当である。
	<input type="radio"/> 妥当である	
	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある <input type="checkbox"/> 妥当でない	
有効性	成果の向上余地	改修整備を行うことによって、来館者の満足度が向上するとともに、来館者の増加が見込まれる。
	<input type="radio"/> 向上余地がある	
	<input type="checkbox"/> 向上余地がない	
効率性	事業費・人件費の削減余地	事業費・人件費ともに必要最低限で行っているため、これ以上の削減余地はない。
	<input type="checkbox"/> 事業費の削減余地がある	
	<input type="checkbox"/> 人件費の削減余地がある <input type="radio"/> どちらも削減余地がない	
公平性	受益と負担の適正化余地	改修整備により、市民及び観光客にとって花巻の魅力が向上するため、受益機会と費用負担について公平であると考えられる。
	<input type="checkbox"/> 受益機会の見直し余地がある	
	<input type="checkbox"/> 費用負担の見直し余地がある <input type="radio"/> 適正である	
総合評価 …上記評価結果の総括		
花巻新渡戸記念館は平成3年に整備された施設であり、整備後26年が経過して雨漏りや外壁等の破損、機器の老朽化が進んでいることから、来館者の満足度が下がるとともに、日常の管理運営にも支障をきたしてきているところである。事業の実施により、設備機能の保全・向上、美観の向上（外壁）、施設の長寿命化が図られ、来館者の満足度が向上するため必要である。		

平成 30 年度 事業説明資料 【 事後評価 】

※色付きのセルのみ入力してください。また、行・列の挿入や削除は絶対に行わないでください。

会計	款	項	目	事業コード	事業名
一般	10	05	07	104540	新渡戸記念館整備事業

単位：千円

		29年度 決算額(A)	30年度 決算額(B)	31年度 現計予算額	決算額前年比 (B-A)
事業費			5,616		5,616
財 源 内 訳	国・県				
	地方債				
	その他				
	一般財源		5,616		5,616

※特定財源の内訳

事業期間	単年度繰返	期間限定	[平成 年度 ~ 平成 年度]
------	-------	------	-----------------

部重点施策における目標

芸術文化の振興を図ります。

事業開始の背景・経緯

花巻新渡戸記念館は平成3年の竣工で建築後26年が経過し、施設・設備が老朽化している。来館者の満足度を向上させ、施設の適正な管理運営を行うため、設備機能の保全・向上、美観の向上)、施設の長寿命化を図る。

事業概要

・屋根及び排煙窓の改修

意見・要望等の状況(市政懇談会や支所執務、議会答弁対応その他意見・提言等)

担当部署 部名 生涯学習部 課名 花巻新渡戸記念館 担当 前田佐和子 内線 31-2120

(単位：千円)

《事業手法の詳細》…概略図による事業手法の詳細と事業費の内訳を記載すること。
【適宜、セルは結合して構わないが、結合した1つのセル内は1文章程度にとどめること。】

